

## 生態水文学研究所赤津研究林白坂流域井戸水位観測報告（Ⅱ）

蔵治光一郎<sup>\*1,\*2</sup>・黒木里香<sup>\*3</sup>・五名美江<sup>\*1</sup>

キーワード：地下水位，白坂流域，赤津研究林

Report of groundwater observation records in the Shirasaka Experimental Watershed, Akazu Research Forest, Ecohydrology Research Institute (Ⅱ)

Koichiro KURAJI<sup>\*1,\*2</sup>, Rika KUROKI<sup>\*3</sup>, Mie GOMYO<sup>\*1</sup>

Keywords: Groundwater Level, Shirasaka Experimental Watershed, Akazu Research Forest

### 1. はじめに

前報（五名ら，2017）では，東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所（以下，生態水文学研究所）の北谷井戸Ⅱで1981～2001年の21年間に観測された地下水位の観測結果を公表した。本報告では，前報に引き続き，北谷井戸Ⅱの2003～2015年の13年間に観測された井戸水位について報告する。

井戸水位の観測は，生態水文学研究所における重要な業務の一つとして位置づけられており，この作業は生態水文学研究所全教職員（元教職員を含む）によって支えられている。

観測で得られた生データ，デジタルデータから井戸水位を算出する作業は，生態水文学研究所気象水文過去データ管理室所属教職員（元教職員を含む）の黒木里香が中心となって行った。

### 2. 地下水観測井戸の概要

地下水井戸の概要に関しては前報（五名ら，2017）に記載した通りであり，重複を避けるため本報告では省略する。

### 3. 記録紙の読取基準と性質

本報告で報告する期間（2003～2015年）には，月巻き水位計記録紙（以下，ロール紙）による記録と水位計に併設したポテンシオメータとデータロガーを用いたデジタル記録（5分間隔）

---

\*1 元所属：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所  
Former affiliation: Ecohydrology Research Institute, The University of Tokyo Forests, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

\*2 現所属：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部  
Present affiliation: Executive office, The University of Tokyo Forests, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

\*3 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所  
Ecohydrology Research Institute, The University of Tokyo Forests, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

が同時並行して行われていた。なお2002年のロール紙も保管されているが、機器の故障、線が乱れるなどして、正確な観測が行われておらず、野帳も保管されていないため、図には含めていない。

2003年6月21日より野帳が保管されていることから、2003年よりグラフ作成を開始した。デジタル記録は2001年4月18日より開始されたという記録があるが、2008年6月9日までのデジタル記録は本報告執筆時点で発見されておらず、消失した可能性が高いため、2008年8月31日までの期間はすべてロール紙を読み取って地下水位とした。2008年9月1日以降はデジタル記録の値を基本とし、これが欠測の場合はロール紙の値によって補った。水位の基準点については前報（五名ら，2017）に記載した通りである。

こうして求めた地下水位の変動を図-1～図-13に示す。図上の実線が途切れている期間は、自記水位計の不調等が原因で生じた欠測期間である。すべての図の元データは、生態水文学研究所に保管されている。

## 謝辞

ここで報告したデータは2002年～2015年に愛知演習林（2011年7月以降は生態水文学研究所）に在籍していた教職員によって記録されたものである。記録に尽力された方々に深く敬意を表し、ここに記してお礼申し上げる。

## 引用文献

五名美江・黒木里香・加藤敦美・川名美恵・蔵治光一郎（2017）生態水文学研究所赤津研究林白坂流域井戸水位観測報告（I），演習林（東大）59: 157-170

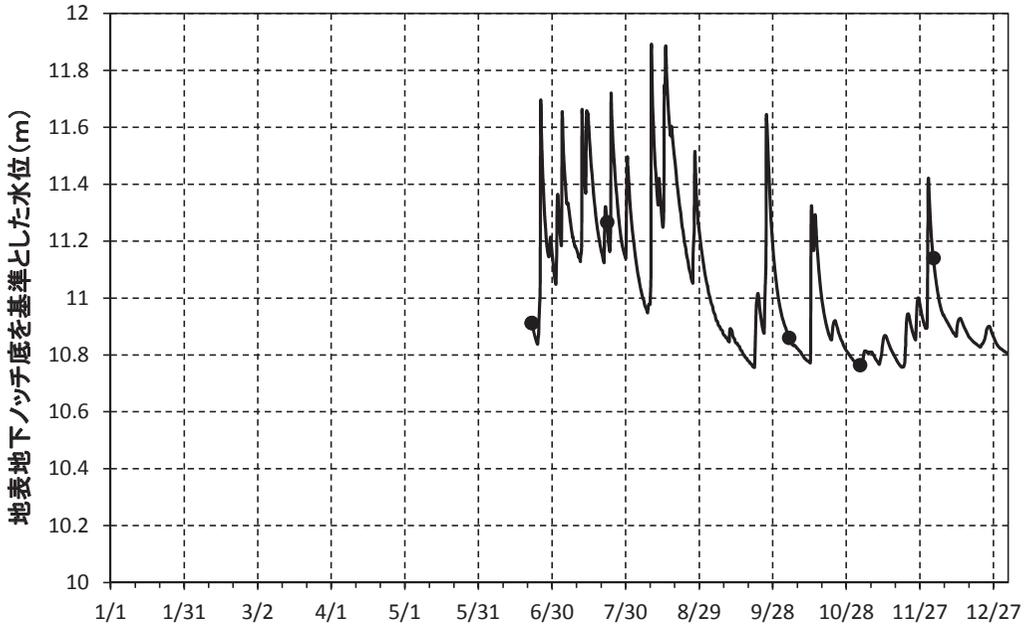


図-1 2003年の北谷井戸Ⅱの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

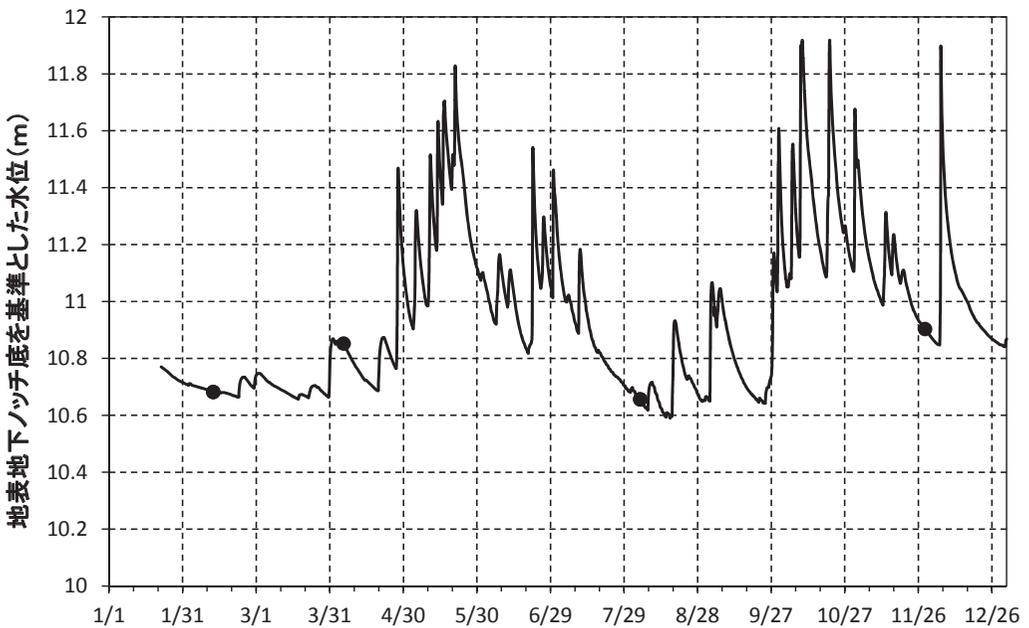


図-2 2004年の北谷井戸Ⅱの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

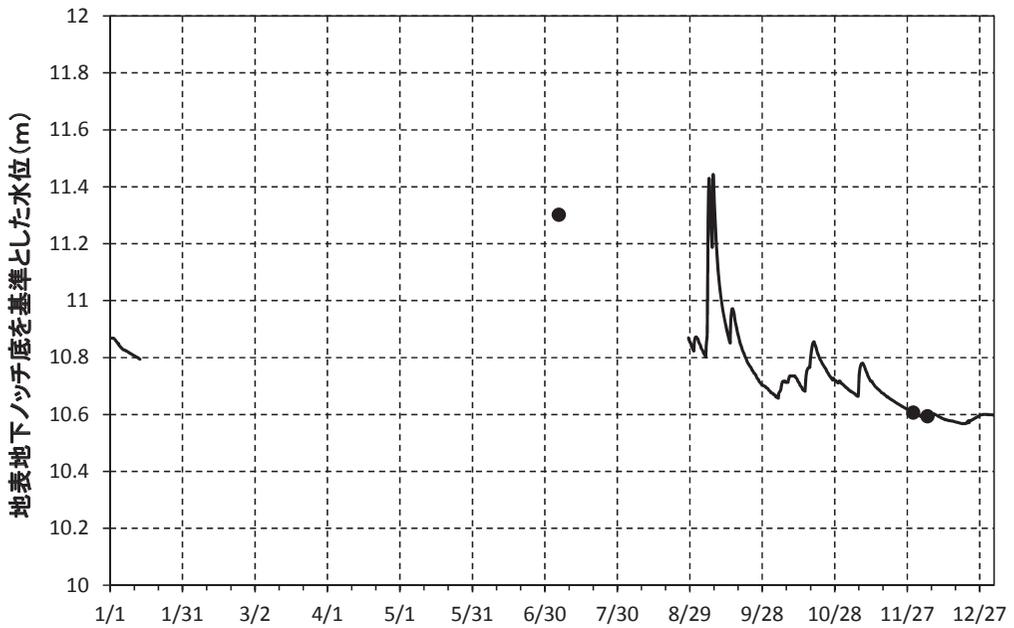


図-3 2005年の北谷井戸IIの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

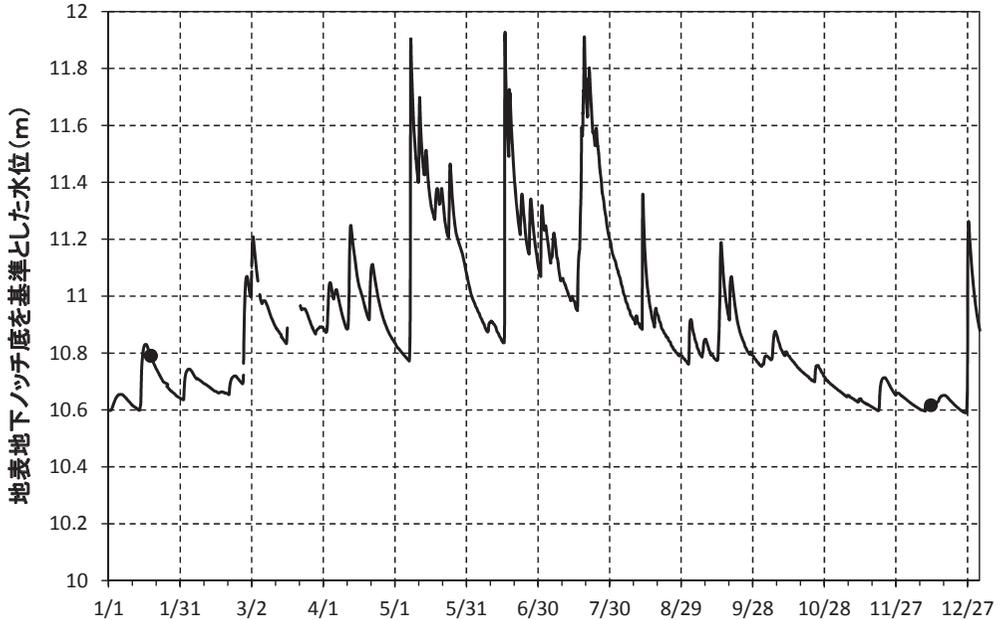


図-4 2006年の北谷井戸IIの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

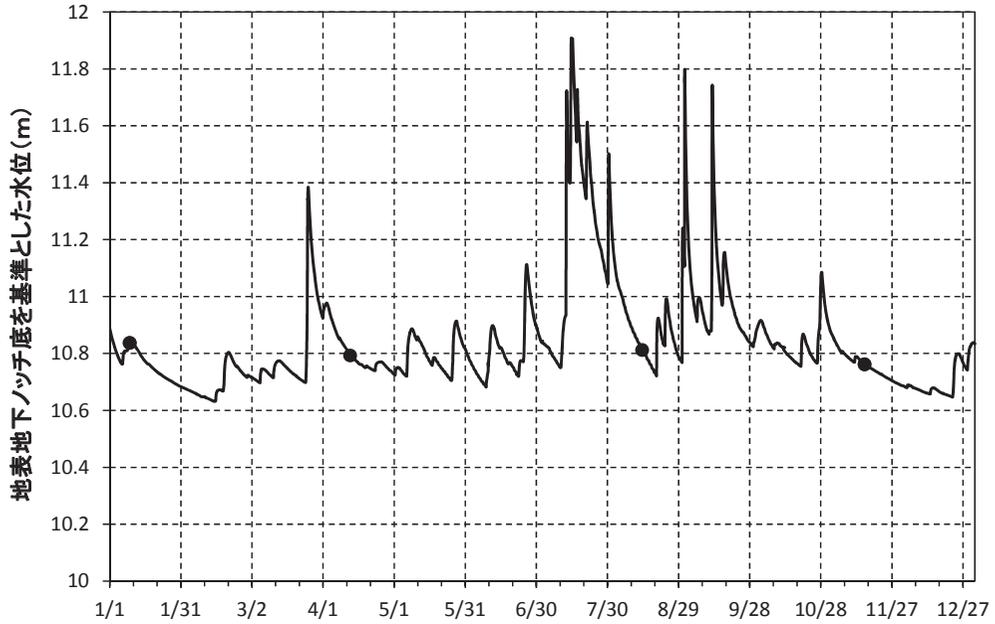


図-5 2007年の北谷井戸Ⅱの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

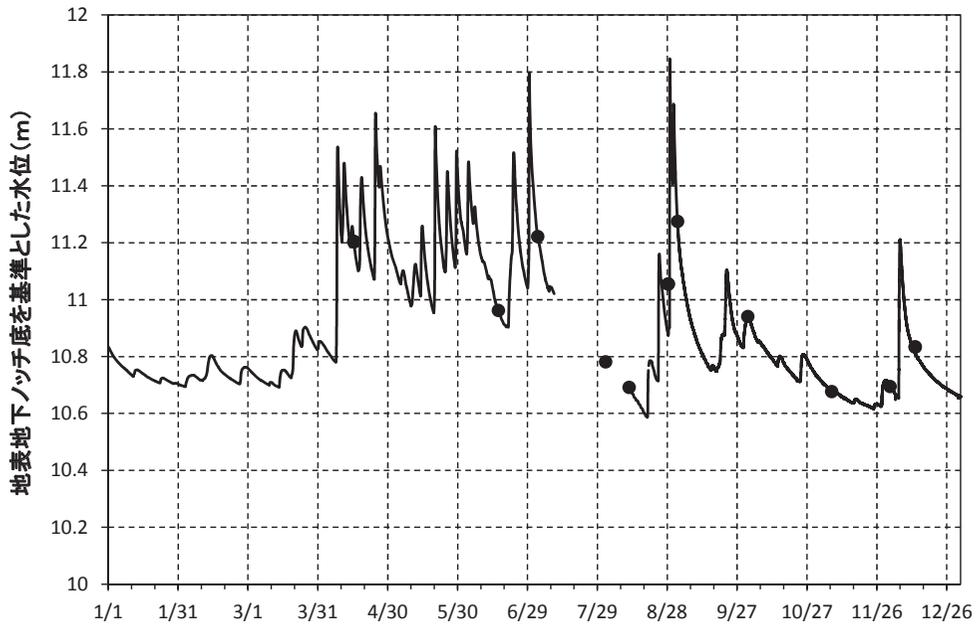


図-6 2008年の北谷井戸Ⅱの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

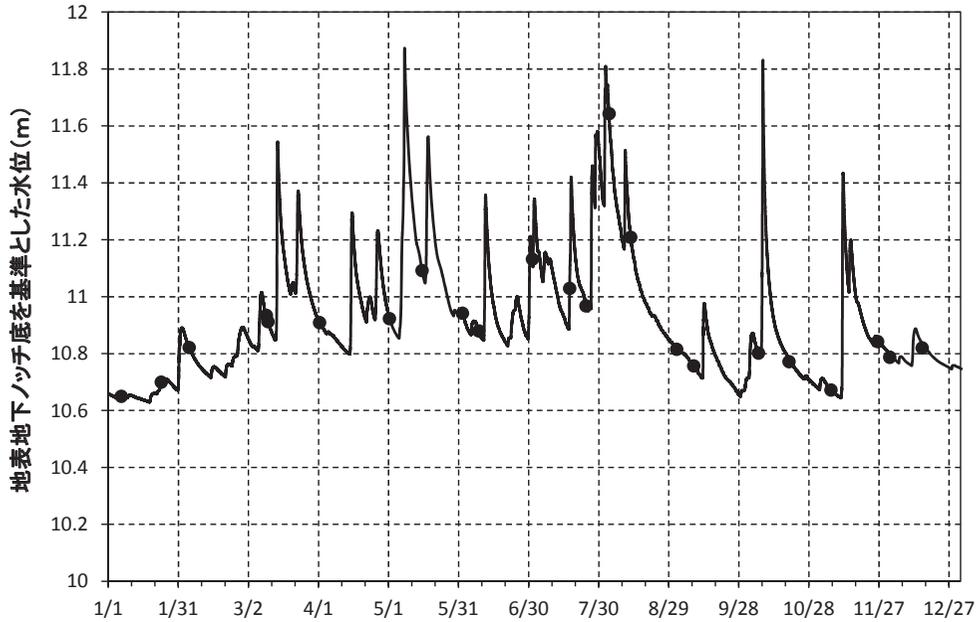


図-7 2009年の北谷井戸IIの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

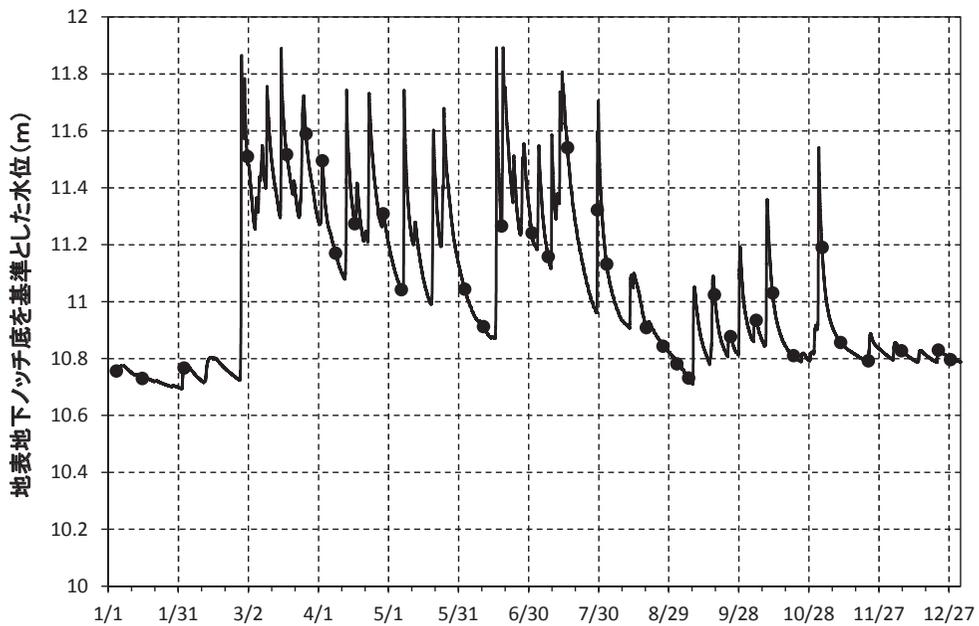


図-8 2010年の北谷井戸IIの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

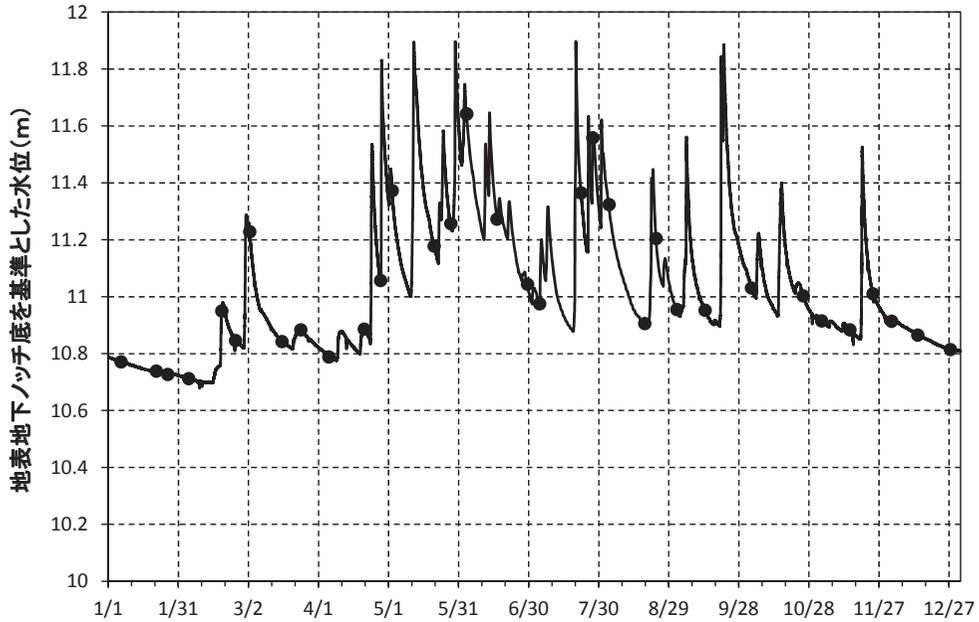


図-9 2011年の北谷井戸Ⅱの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。



図-10 2012年の北谷井戸Ⅱの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。

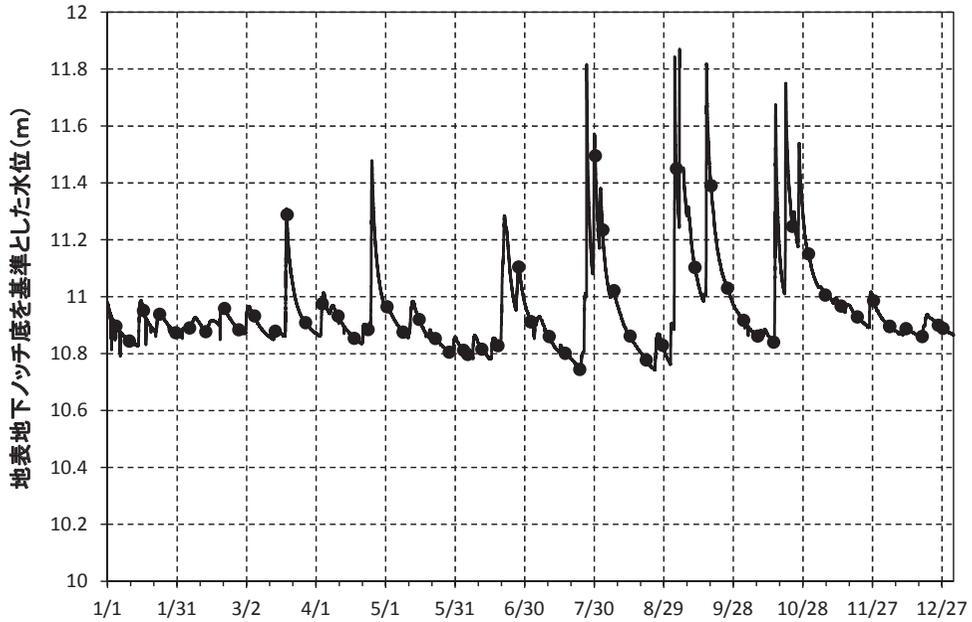


図 - 11 2013 年の北谷井戸 II の水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値，実線は自記水位計で記録された水位。

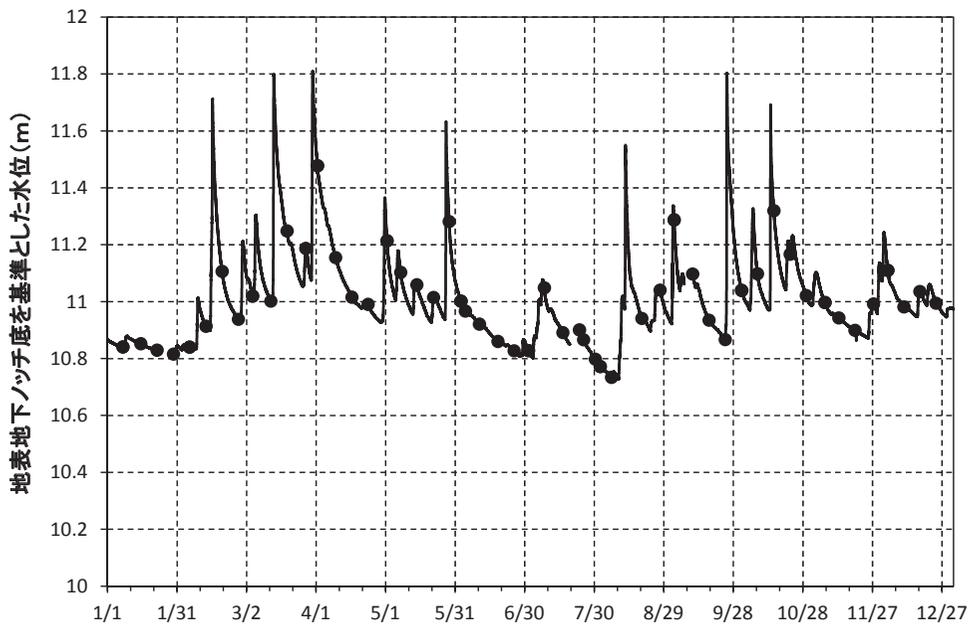


図 - 12 2014 年の北谷井戸 II の水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値，実線は自記水位計で記録された水位。

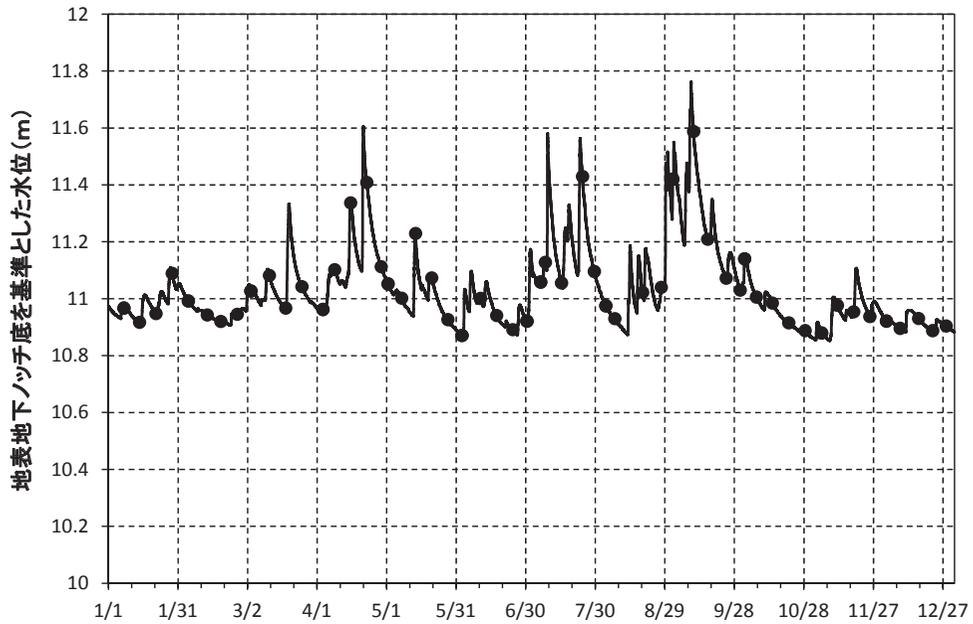


図-13 2015年の北谷井戸Ⅱの水位変動。●は野帳に記載されたポイントゲージ読取値、実線は自記水位計で記録された水位。